

## 資料編

## <用語解説>

### (1) 五十音順

#### ア行

##### 【一級河川】

国土の保全または国民の経済上の観点から、特に重要な水系として、国土交通大臣が指定した河川のこと。

##### 【一極依存構造】

「首都圏基本計画」で示されている課題で、東京中心部への業務機能をはじめとした諸機能の集積のこと。

##### 【生け垣設置補助金制度】

本市が定める「青梅市生け垣設置費補助金交付要綱」にもとづき、建築物のある敷地において、一定の基準を満たした生け垣を新設した際に、費用の一部を補助する制度のこと。

##### 【今井土地区画整理事業】

青梅インターチェンジ北側地区で行われる市街地開発事業のこと。土地区画整理事業という手法を用い、物流を中心とした流通業務機能などの集積を図る。

##### 【インフラ施設】

道路や治水施設、鉄道、公園、上下水道、通信施設、エネルギー供給施設など、公共的な機能を担う施設のこと。

##### 【ウォークابل】

「歩きやすい」「歩きたくなる」「歩くのが楽しい」などを示す言葉で、道路の活用に限らず、誰もが居心地が良いと思える環境づくりをしていくこと。

##### 【ウメ輪紋ウイルス】

ウメやモモ、スモモ等に感染する植物ウイルスのこと。感染したウメには葉に薄い緑色のドーナツ状の模様（輪紋）ができる症状等がある。

##### 【雨水小型貯留施設（貯留槽）】

雨どいに接続することにより、住宅などの屋根に降った雨水をためるための小規模な雨水タンクのこと。貯留した雨水は、樹木や道路への散水、防火用水などに活用する。

##### 【雨水浸透施設】

住宅などの屋根に降った雨水を地下に浸透させるための構造を持った浸透ますや浸透トレンチのこと。水害を防止するとともに地下水のかん養にも効果がある。

##### 【雨水調節池】

大雨が降った際に雨水を一時的に貯め、河川への雨水の流出を抑制する施設のこと。

##### 【駅勢圏】

駅の勢力圏のこと。駅を利用する人の居住地や就業地、就学地の範囲を示す。

##### 【エリアマネジメント】

地権者や事業者、行政が協力し、地域の特定の箇所を対象に、まちづくりルール作成や景観の誘導、地域美化に向けた取組、イベントの実施など、魅力ある都市空間の形成等を行う取組のこと。

##### 【青梅駅前地区第一種市街地再開発事業】

青梅駅前において、老朽化した共同ビルや周辺の木造建築物等の敷地の統合を行い、区画道路や空地の整備とともに土地の高度利用と都市機能の更新を図る事業のこと。

### 【青梅宿】

江戸時代頃、旧青梅街道の道沿いに発展した宿場町のこと。

### 【青梅東部新町土地区画整理事業】

新町地区において、道路・公園、その他公共施設を整備し、住居、商業、工業地域の土地の区画を整えることによって、計画的に市街地を整備した事業のこと。

### 【青梅の森保全プロジェクト】

青梅の森およびその周辺の本市が管理する地域において、保全活動等を行う各種団体等と本市が協働して青梅の森保全事業を行うことを目的に設置した組織のこと。

### 【青梅の森特別緑地保全地区】

本市のほぼ中央、永山公園の北側に位置し、身近で様々な動植物に出会える豊かな自然が残る都内最大（91.7ha）の特別緑地保全地区のこと。この地区内で建築物、工作物の新築等を行う場合は市長の許可が必要となる。

### 【おうめ水辺の楽校(がっこう)】

川に学ぶ社会をめざし、文部科学省、国土交通省、環境省の連携による、「子どもの水辺再発見プロジェクト」が進められている。

本市では、平成 24（2012）年 2 月に、このプロジェクトに沿って、自然環境豊かな市民球技場前の川原を、「おうめ水辺の楽校」と名付け、子どもの水辺サポートセンターに登録し、「おうめ水辺の楽校運営協議会」による親水事業を実施している。

### 【おうめ水辺の楽校運営協議会】

川に学ぶ社会をめざし、文部科学省、国土交通省、環境省の連携による、「子どもの水辺再発見プロジェクト」に沿って、本市にて親水事業を実施

している組織のこと。

### 【汚水中継ポンプ場】

地形に高低差があり、水が自然に流ることができない箇所において、汚水を下水処理場まで流れるようにする施設のこと。

### 【温室効果ガス】

地表面から放出される赤外線を吸収する微量物質のこと。本来、宇宙空間に逃げるはずの熱が温室効果ガスによって地表面に戻ることににより、気温が上昇する現象を温室効果という。

## 力行

### 【カーボンハーフ】

令和 3（2021）年に東京都が表明した、令和 12（2030）年までに温室効果ガス排出量を平成 12（2000）年の排出量の 50%までに削減させる取組のこと。

### 【カーボンニュートラル】

二酸化炭素の排出量と森林による吸収量を相殺して、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロとすること。ゼロカーボンとも呼ばれる。

### 【崖線緑地】

河川や海の浸食作用でできた崖地の連なりを崖線といい、そこに残る樹林地や緑地を崖線緑地という。

### 【霞台放流渠】

雨水を多摩川に放流する管のこと。新町地区を中心として東部区域の雨水排除を目的として、昭和 61（1986）年 2 月に霞台放流渠関連の事業認可を得て、事業を実施している。

### 【合併処理浄化槽】

主に各戸ごとの敷地に設置され、トイレの汚水と台所や風呂などから排出される生活雑排水を合わせて処理する汚水槽のこと。

### 【観光資源のネットワーク化】

市内に点在する観光資源を歩道や公共交通等でアクセスしやすくすることにより、複数の観光資源を回遊しやすくする仕組みのこと。

### 【関東ローム層】

地層の一種。関東地方に広く分布している約 13 万～2 万年前の火山活動に由来する火山灰質粘性土のこと。

### 【官民ストック】

これまで行政や民間事業者によって整備されてきた道路や公園、下水道、公共施設、建築物等の施設のこと。

### 【企業の森事業】

東京都が実施しており、スギ・ヒノキ林を伐採した跡地に花粉の少ないスギなどを植栽することで「花粉の少ない森づくり」を進めるとともに、多摩産材の安定供給、東京の林業の活性化を図っていく事業のこと。

### 【既成市街地】

産業または人口が相当程度集中し、公共施設の整備や土地の高度利用などの市街地としての開発が既に行われている地域のこと。

### 【既存宅地】

市街化調整区域内において、市街化調整区域と決定された区域区分日以前から宅地化されていた土地のこと。東京都の「都市計画法に規定する開発許可等の基準に関する条例」に位置付けられており、建築物の建築等が可能となる場合がある。

### 【業務核都市】

都心部などへの一極集中依存型構造からバランスのとれた地域構造への改善を図るため、「首都圏基本計画」において指定された、業務などの諸機能の集積を促進する都市のこと。多摩地域では、青梅市のほか、八王子市、立川市、多摩市、町田市が位置付けられている。

### 【供用開始面積】

公共下水道が整備され、排出される汚水を下水道に流すことができる区域の面積。

### 【緊急輸送道路】

地震等の災害直後から避難・救助や物資供給等の応急活動を円滑に行うため、高速道路や一般国道、これらを結ぶ幹線道路と知事が指定する防災拠点と相互に連絡する道路のこと。

### 【グリーンインフラ】

自然環境が有する多様な機能を積極的に活用し、地域の魅力や居住環境の向上、防災・減災等の多様な効果を得て、社会における様々な課題解決に活用しようとする社会資本整備の考え方のこと。

### 【グリーンスローモビリティ】

時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のこと。

### 【経営耕地面積】

農林業経営体が経営する耕地(田、畑および樹園地の計)の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち耕作放棄地を除いたもの。

### 【計画フレーム】

本計画を定めるうえでの目標年次における人口目標のこと。

### 【景観形成地区】

重点的に優れた景観形成を図る地区として景観形成計画を定め、積極的に景観整備・修景を進める地区のこと。本市には「多摩川沿い景観形成地区」と「青梅駅周辺景観形成地区」が定められており、この地区内における建築物等の新築・増築・改築や意匠の変更等の行為を行う場合は、届出が必要となる。

### 【下水道未普及地域】

公共下水道が整備されていない地域のこと。

### 【広域交通ネットワーク】

高速道路など、広域的な人やモノの移動のための交通網のこと。

### 【公園DX】

公園の運営を行うにあたって、これまで人力で実施していた事項をデジタル化することによって、利用者のサービス向上や維持管理の効率化を行うこと。

### 【公共下水道排水区域面積】

公共下水道へ汚水を排水することができる土地の面積のこと。

### 【公共交通空白・不便地域】

概ね徒歩圏外となる鉄道駅から 700m またはバス停から 300m 圏外のエリアのこと。

### 【高効率空調設備】

小さなエネルギーで大きな空調能力を引き出す空調設備のこと。

### 【公設民営方式】

国や地方公共団体が施設を設置し、その施設運営を民間の企業・団体に代行してもらう仕組みのこと。

### 【高付加価値化】

資源や事業、サービス、商品などに高い機能や新しい機能、使いやすさ、使い心地、デザインの良さなどを付加し、利用者にとっての価値を高めること。

### 【コミュニティインフラ】

地域コミュニティの生活を支え、魅力を高める施設や空間のこと。道路や公園、集会施設、商店街、子育て支援施設、医療・福祉・介護施設、教育文化施設などが含まれる。

### 【コミュニティビジネス】

地域のニーズや課題に対応するための事業のこと。地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与することができる。

### 【コンパクトシティ】

都市の郊外開発を抑え、都市機能を生活の中心地に集約した都市の形態や政策のこと。

### 【コンパクト・プラス・ネットワーク】

人口減少・少子高齢化の進行により、医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスや公共交通の維持が課題となることから、それらの都市機能を都市の中心地や生活拠点に集約し、これらのエリアを公共交通で結ぶ都市構造のこと。

## サ行

### 【再生可能エネルギー】

資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因と

なる二酸化炭素をほとんど排出しないエネルギーのこと。

#### 【サテライトオフィス】

企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。

#### 【砂れき層】

れき（小石）と砂が混合した土で、砂が5%未満の地層のこと。

#### 【市街化区域】

すでに市街地を形成している区域およびおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。

#### 【市街化調整区域】

市街化を抑制すべき区域のこと。原則として住宅や商業施設、ビルなどの建物を建てられない。

#### 【市街地再開発事業】

都市再開発法にもとづき、市街地の土地の合理的で健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、公共施設や建築物、建築敷地の整備などを行う事業のこと。

#### 【自然公園地域】

優れた美しい自然の風景地を保護していくとともに、その中で自然に親しみ、野外レクリエーションを楽しむことができるように指定された公園のある地域のこと。国立公園、国定公園、および都道府県立自然公園が対象の公園であり、本市は秩父多摩甲斐国立公園がある。

#### 【自然体験型観光レクリエーション】

キャンプ、ハイキング等の野外活動や動植物や星の観察といった自然学習活動等の体験を含めた観光形態のこと。

#### 【事前復興】

大きな災害などに被災した場合、迅速かつ計画的な都市復興を実現でき

るよう、都市復興の在り方や手順、執行体制をあらかじめ検討し、市民や行政等と共有を図る取組のこと。

#### 【持続可能な公園管理】

人口減少等の社会潮流や地域のニーズなど、将来の運用を見据えた管理をするために、様々な検討や協働を用い、持続的な活用ができる公園管理を行うこと。

#### 【指定管理者制度】

多様化する市民ニーズに対して、より効果的・効率的な対応をするため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とした制度のこと。

#### 【市民提案協働事業】

より効果的に地域課題や多様化するニーズに対応するため、市民活動団体の特性を生かした提案を募集し、市民活動団体と行政が協働で事業を実施すること。

#### 【住宅市街地の開発整備の方針】

良好な住宅市街地の開発整備を図るための長期的かつ総合的なマスタープランのこと。「大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法」にもとづき、東京都が策定したもの。

#### 【シェアサイクル】

サイクルポートと呼ばれる専用の駐輪場に置いてある自転車を24時間いつでも借りることができ、使い終わったらサイクルポートへ返却する自転車利用サービスのこと。

#### 【住民基本台帳】

氏名や生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成した台帳のこと。住民の方々に関する事務の基礎となるもの。

### 【小規模分散型】

集落や住戸等の小さな規模から様々な地域に分散して連鎖的に事業や取組を行うこと。

### 【浄化槽処理促進区域】

公共下水道（污水）が整備されていない区域において、家庭等から出る生活排水を浄化する「合併処理浄化槽」の整備を進めていく区域のこと。

### 【条例等による保全地域】

東京都の「東京における自然の保護と回復に関する条例」第 17 条にもとづき指定される保全地域のこと。本市には青梅上成木森林環境保全地域や勝沼城跡歴史環境保全地域、立川崖線緑地保全地域がある。

### 【人口集中地区（D I D地区）】

人口密度が高い市街地であり、国勢調査において一定の人口規模等の条件を満たしている地区のこと。

### 【親水性】

水や川に触れることで、水や川に対する親しみを深めること。

### 【準用河川】

一級河川や二級河川以外で市長が指定した河川のこと。河川法のうち、二級河川に関する規定が準用される。

### 【水管橋】

水道管が河川や水路を横断するときに設置される橋りょうのこと。

### 【水源かん養】

森林が持つ機能の一つ。森林の土壌が雨水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能を持つほか、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される仕組みのこと。

### 【ストックマネジメント】

施設（ストック）の現状を把握・評価し、計画的に修繕・改修を行い、効率的に延命化を図ること。

### 【生産緑地地区】

市街化区域内において農地等を計画的かつ持続性のある緑地として保全するための都市計画の制度のこと。指定された農地等は、30年間の適正な管理が義務づけられ、農林業以外に利用できない。

指定から30年を経過する前に、所有者等の意向にもとづき特定生産緑地にすると、10年間の期間延長が可能。

### 【生物多様性】

生態系を構成する動物や植物、微生物など、多様な生物が存在していること。地球上に生息・生育する全ての生物種の多様性と、その遺伝子の多様性、さらに地域ごとの様々な生態系の多様性を意味する。

### 【ゼロカーボンシティ宣言】

温室効果ガスの一種である二酸化炭素の排出量と吸収量がプラスマイナスゼロの状態である都市のことをゼロカーボンシティといい、令和32（2050）年にゼロカーボンシティになるよう取り組むことを公表すること。

### 【双方向コミュニケーション】

一方向への情報伝達にとどまらずお互いに情報や意志、感情を伝え、受け取り合うコミュニケーション手法の一つ。

### 【ソーラー公園灯】

太陽光で発電し、貯まった電気で点灯する公園灯のこと。

### 【ソフト対策】

都市の基盤やインフラ、制度の設立・整備等のルールや資産の形成で対

応や対策を行うハード対策とは異なり、情報伝達や周知・啓発等形取らない形式で対応や対策を行うこと。

## 夕行

### 【立川断層帯】

埼玉県入間郡名栗村から東京都青梅市、立川市を経て府中市に至る断層帯のこと。名栗断層と立川断層から構成されている。

### 【地域地区】

都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、地域ごとに一定の制限を定めることにより、適正で合理的な土地利用を図る制度のこと。

### 【地域別座談会】

市民意見の集約の一つとして、東部、西部、北部の3地域で実施した座談会のこと。ワークショップ形式で本市の状況や課題を共有し、まちづくりの方向性についての話し合いを実施した。

### 【地区計画】

地区の課題や特徴を踏まえ、住民と市区町村とが連携しながら、地区の目指すべき将来像を設定し、その実現に向けて都市計画に位置付けて「まちづくり」を進めていく手法のこと。

### 【秩父古生層】

地層の一種。秩父山地をはじめ日本各地に広く分布する古い地層のこと。

### 【秩父多摩甲斐国立公園】

奥秩父山塊を中心とした埼玉、東京、山梨、長野の一都三県に跨る国立公園のこと。

### 【鳥獣保護区】

動物を守る観点から、狩猟が認められていない地域のこと。「鳥獣保護

管理法」にもとづき、東京都が指定している。

### 【長寿命化計画】

道路や橋りょう、下水道、公園などの社会資本について、施設の適正な把握・評価にもとづき、安全・安心を確保するための予防保全的な維持管理や、効率的な修繕・改築などによる延命化により、ライフサイクルコストの縮減や費用の平準化を行うための計画のこと。

### 【デジタル・トランスフォーメーション（DX）】

デジタル技術で社会や生活をより良いものへと改善させていくこと。行政においては、主に手続きのしやすさの向上や業務の効率化による住民サービスの向上を指す。

### 【デマンド型交通】

路線バスなどルートやダイヤを定めて運行する路線定期型交通とは違い、利用者のニーズに応じて柔軟に運行する交通サービスのこと。

### 【特別用途地区】

都市計画法にもとづく地域地区の一種で、用途地域内において地域的要請から土地利用の増進、環境の保護などを図るために定める地区のこと。本市では、公害防止のため、工場の用途を制限する第一種特別工業地区や、居住環境の保全と保護を図るため、工場の規模や用途を制限する第二種特別工業地区を定めている。

### 【特別緑地保全地区】

都市計画法にもとづく地域地区の一種で、豊かなみどりを将来に継承するため、都市における良好な自然的環境となる緑地を指定するもの。指定した地区内では、都市緑地法にもとづく行為の制限を受けることとなる。本市では、崖線緑地や丘陵地の一部を特別緑地保全地区に指定している。

### 【都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】

いわゆる「都市計画区域マスタープラン」ともいい、長期的かつ広域的な視点に立った都市の将来像を明確にするとともに、その実現へ向けての大きな道筋を明らかにするため、都市計画法第6条の2にもとづき、都道府県が定めている計画のこと。

### 【都市計画規制】

建築物の用途や規模、その土地の利用の仕方などを都市計画法にもとづき、まちづくりのルールや規制を定めること。

### 【都市計画事業】

都道府県知事等の認可・承認を受けて行なわれる、都市計画施設の整備に関する事業および市街地開発事業のこと。都市計画施設とは都市計画法第11条に掲げられた都市施設のうち、都市計画で名称等を定められたものであり、市街地開発事業とは、同法第12条に掲げられた事業のうち、都市計画で名称等を定められたものである。

### 【都市計画提案制度】

土地所有者やまちづくりNPOなどが、地域の合意や規模などの一定の条件を満たした上で、地方公共団体に都市計画の決定や変更について提案ができるという制度のこと。

### 【都市計画的対応】

都市計画法で定められたルールや規制等について、その位置付けを都市計画決定や変更をもって対応すること。

### 【都市公園】

住民のレクリエーション空間や都市環境の改善、防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりのための交流空間などの多様な機能を有する都市の根幹となる公園施設のこと。

### 【都市再開発の方針】

市街地における再開発の各種施策を長期的かつ総合的に体系付けたマスタープランのこと。再開発の適正な誘導と計画的な推進を図ることを目的に定められている。「都市再開発法」にもとづき、東京都が策定したものの。

### 【土砂災害警戒区域】

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民などの生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域のこと。土砂災害防止法にもとづき、都道府県が指定するもので、指定後は危険の周知や警戒避難体制の整備が行われる。

### 【土砂災害特別警戒区域】

土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域のこと。住宅地分譲や社会福祉施設などの特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われる。

### 【土地区画整理事業】

土地区画整理法にもとづき、都市計画区域内の土地について、道路や公園などの公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更や公共施設の整備に関する事業のこと。

### 【都立誠明学園周辺地区地区計画】

文化施設と学園施設の整備および土地利用を図り、かつ住宅地との調和と良好な市街地環境の保全を図るための地区計画のこと。新町3丁目地内の約13.5haが都市計画決定されている。

## ナ行

### 【二地域居住】

都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に拠点を行き来し、休息地として活用したり、仕事をしたりする生活スタイルの1つ。

### 【ネイバーフッド】

英語で近所や地域を意味する単語で、主に自分の住んでいる地域のこと。界隈や周辺一帯等とも訳される。

### 【農振農用地】

農業振興地域内における農業上の利用を確保すべき土地として指定された農用地区域のこと。農用地区域内の土地は農地転用の制限や開発行為の制限等の措置がとられる。

### 【農地転用】

農地を農地以外のものに転用し、活用すること。

## ハ行

### 【バイオマス発電】

木くずや生ごみ等の生物資源を燃焼したり、その際の熱を利用したり、ガス化したりして電気を起こす発電方式のこと。

### 【パブリック・コメント】

行政が法令や政策を決めていく過程で民意を反映させる手続きのこと。一般的には、ホームページなどで計画案を公表し、郵送やファックス、メールなどにより意見を募る。

### 【風致地区】

都市の風致（樹林地、水辺地などで構成された良好な自然的景観）を維持するため、都市において良好な自然的景観を形成している区域のうち、

土地利用計画、都市環境の保全を図るため風致の維持が必要な区域のこと。

### 【防火地域・準防火地域】

市街地における火災の危険を防ぐために定められた地域のこと。防火地域は建築物をほぼ完全に不燃化することで火災から地域を守り、準防火地域は市街地全体の防火性能を高め、火災の延焼を防ぐ。

### 【普通河川】

一級河川や二級河川、準用河川以外の小河川のこと。

### 【防災ハンドブック】

いつ起こるかかわからない災害の被害を最小限にとどめるため、備えるべきことや災害発生時取るべき行動等をまとめた冊子のこと。

### 【防災マップ】

土砂災害（特別）警戒区域や浸水想定（予想）区域、避難所、一時避難所、災害時の給水拠点など災害時に必要な情報が掲載された地図等をまとめたもの。

## マ行

### 【面的整備事業】

一体的な土地利用を行うために、ある程度まとまった範囲において道路や公園、事業用地等の整備を行う事業のこと。

### 【モビリティ・マネジメント】

一人ひとりの移動が、個人的にも社会的にも望ましい（過度な自動車利用から公共交通や自転車など多様な移動手段を適切に利用する）方向へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策のこと。

## ヤ行

### 【ユニバーサルデザイン】

文化や言語、国籍の違いや老若男女の差異、障害・能力の有無などにかかわらず、誰もが使いやすく、より快適な環境に設計されたデザインのこと。

### 【予防保全型管理】

インフラ更新時期の平準化と総事業費の削減を図るために、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行う管理手法のこと。

## ラ行

### 【ライフサイクルコスト】

製品や構造物などの企画、設計から廃棄、処分に至るまでの資産の全生涯で発生する費用のこと。

### 【ライフライン】

人々が日常生活を送る上で不可欠な電気や水道、ガスなどの公共施設や、電話やインターネットなどの通信設備や道路、鉄道などの交通施設のこと。

### 【リバーアクティビティ】

カヌーやカヤックなどの川の流れや自然の沢を活かした活動のこと。

### 【緑化重点地区】

都市のシンボルとなる地区など、重点的に緑化の推進に配慮し、緑化施策を講じる区域のこと。

### 【レンタサイクル】

店舗等にて自転車を借り、使い終わったら借りた場所等に返却を行う自転車利用サービスのこと。青梅駅、東青梅駅北口、河辺駅北口の各自転車

等駐車場で、指定管理者の自主事業としてレンタサイクル「うめクル」のサービスを開始している。

### 【ロードサイド型店舗】

幹線道路など通行量の多い道路の沿道において、自家用車での利用を主な集客方法とする店舗のこと。「ロードサイド」とは道路の沿道のこと。

## ワ行

### 【ワークショップ】

意見交換や共同体験を通じて、実践的な知識・技術を学び取る参加体験型グループ学習や地域に関わる様々な人が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための共同作業を行う場のこと。

## (2) アルファベット順

### 【ICT】

Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、情報通信技術を活用した情報や通信に関する技術の総称。

### 【LED】

発光ダイオード（Light Emitting Diode）の頭文字を省略したもので、電流を流すと発光する半導体の一種。電気信号を光信号に変える機能があり、高輝度で電球に比べて発光量あたりの消費電力が少ない上、振動にも強く、寿命も長いので屋外の装飾用サインなどに利用される。

### 【Park-PFI制度】

都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置または管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続きのこと。

### 【PDCAサイクル】

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字をとって名づけられた業務改善方法の一つ。この4ステップを繰り返すことで、継続的な業務改善を可能にする手法のこと。

### 【PFI】

Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の頭文字を省略したもの。国や地方公共団体によって提供されていた社会資本整備や公共サービスを、民間主導により実施していくもので、事業費用の削減や質の高い公共サービスの提供を目指す事業のこと。

### 【PPP】

Public Private Partnership（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の頭文字を省略したもの。公共が行ってきた事業を、民間企業やNPOなどの民間セクターが互いに資金や人材、技術などの資源を提供して行う事業のこと。PFIは、国や地方公共団体が基本的な事業計画をつくり、資金やノウハウを提供する民間事業者を募るのに対し、PPPは、事業の企画段階から民間事業者が参加するなど、幅広い範囲を民間に任せるとする手法。

### 【SDGs】

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals：SDGs)」のこと。平成28(2016)年から令和12(2030)年までの国際指標。地球上の誰一人として取り残さないことを誓っており、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示したものの。

### 【Well-being（ウェルビーイング）】

身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的に良好

で満たされている状態にあることを意味する概念のこと。

### 【ZEH・ZEB】

ZEH（net Zero Energy House）・ZEB（net Zero Energy Building）は、快適な室内環境を実施しながら、建築物・設備の省エネ性能を向上した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー（石油、石炭、天然ガスなど自然界に存在しているエネルギー源）消費量の収支をゼロとすること。ZEHは一般住宅で、ZEBの対象はビルや工場、学校といった大型の建物が対象となる。